

広告系フリーソフトへの対応

概要

一部のフリーソフト配布サイトからダウンロードしたものをインストールする際は、本来インストールするソフト以外に、追加でメンテナンスソフトやセキュリティソフト、検索サイトのインストールを促す画面が表示される場合があります。

インストールを促されるメンテナンスソフトやセキュリティソフトなどの一部は、動作や効果が不明なものがあり、クリーンアップ動作には有償版が必要などと表示させ、支払いを求めるものがあります。

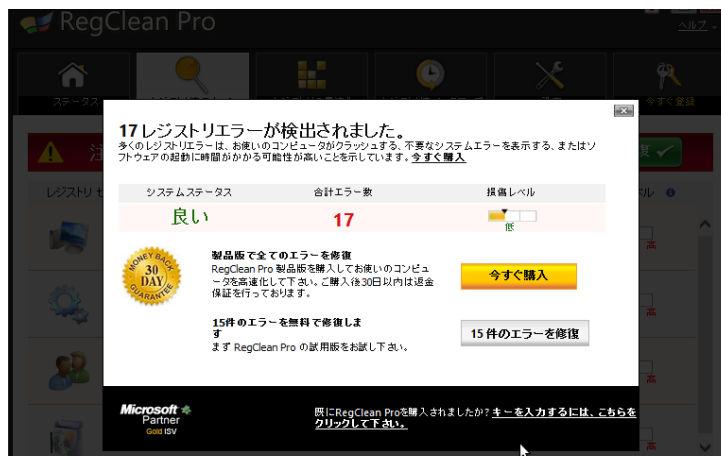


図 1.RegClean Pro の有償版購入画面

図 1 のソフトは、インストールされるとパソコンのシステムチェックを行い、異常がなくとも警告を出し有償版の購入を促してきます。



図 2.hao123 の検索サイト

図 2 のソフトは、インストールされるとブラウザ起動時の検索エンジンが上記のような別の画面に書き換えられてしまいます。

上記のみならず、現在でも同じ機能をもった別名のソフトが大量に存在しています。今回は、NetStable での検知状況、検出時の対応について掲載いたします。

NetStable での検知

NetStable では、RegClean Pro、hao123、babylon、Kingsoft Security、Ask Toolbar、Advanced System Protector、Mindspark Toolbar などのインストール、アップデート通信、購入画面の表示、検索画面を表示した際の通信を検出するシグネチャがあります。

※シグネチャは一部抜粋

- **RegClean Pro**(PC メンテナンスツール)のインストール時の通信、購入画面の表示
- **hao123**(検索サイト)のインストール時の通信、検索ページの表示
- **babylon**(検索サイト)の検索ページの表示
- **Kingsoft Security**(ウイルス対策ソフト)のインストール時の通信、アップデート通信
- **Ask Toolbar**(検索サイト)のインストール時の通信、アップデート通信、検索ページの表示
- **Advanced System Protector**(PC メンテナンスツール)のアップデート通信、購入画面の表示
- **Mindspark Toolbar**(検索サイト)のインストール時の通信、検索ページの表示

検出時の対応

NetStable 管理コンソールより、本シグネチャの検出ログが表示された場合、送信元 IP アドレスの端末に検出されたシグネチャ名のソフトがインストールされている可能性があります。

検出された該当ソフトが不要である場合は、アプリからのアンインストールまたはコントロールパネルの「プログラムと機能」からのアンインストール、スタートアップ登録の削除を行い、該当ソフトが起動しない設定に変更してください。

また、普段使用するブラウザのホームページ(最初に開くページ)の設定が変更されている場合がありますので、適切なサイトに変更してください。

まとめ

- フリーソフトをインストールする際に見覚えのないソフトもインストールされる
- 有償版の購入を促す画面の表示、ブラウザの検索エンジンを書き換えられる
- 不要なソフトはアンインストールを実施する